

日本骨髄バンクの現状（平成 19 年 9 月末現在）

	8 月	9 月	現在数	累計数
ドナー登録者数	3,722	3,055	290,329	366,809
患者登録者数	192	151	2,332	23,546
骨髄移植例数	86	88	-	8,715

20 歳未満のドナー登録者数
 9 月 104 人
 合計 5,982 人（17 年 3 月～）
 51 歳以上のドナー登録者数
 9 月新規 81 人
 延長 186 人
 合計 8,543 人（17 年 9 月～）

注）数値は速報値のため訂正されることがあります。

1 最終同意確認後の撤回に関する説明について

1994 年頃から実施している、ドナーに対して「最終同意後は撤回できない」と説明していることに関して、9 月 5 日の常任理事会に引き続き 10 月 5 日の常任理事会で審議されました。

これまで通りの「撤回できない」と説明する現状維持案と、これまでの説明を改め、「ドナーはいつでも辞退できる」と説明内容を変更する変更案について、それぞれの利点や問題点を挙げて審議されました。しかし、この問題については患者さんやドナーの方に大きな影響をあたえる問題であり、慎重に審議を進めていく必要があるため、当日出席できなかった常任理事を含め、ご意見を集約することとなり、次回の常任理事会（11 月 9 日）で再度、検討されることになりました。

2 非血縁者間骨髄移植診療科・採取施設の認定基準の検討について

骨髄採取の受け入れ先の確保が困難であるという問題を解決する対策案のひとつとして、骨髄採取施設の認定を希望している施設の認定手続きを急ぐとともに、認定基準についても検討を行うことが 9 月 5 日の常任理事会で承認されました。実際、非血縁者間移植を希望する施設から、早期に認定して欲しい旨の連絡があり、医療委員会及びドナー安全委員会において骨髄移植診療科及び採取施設の認定基準の拡大が検討されています。現在の認定基準は、採取施設では過去 2 年以内に骨髄採取術を 5 例以上実施していること、移植診療科では、過去 3 年以内に 10 例以上（小児科は 7 例以上）の同種造血幹細胞移植の経験を有することとなっています。基準を緩和するのではなく、現在の基準と同等程度の他の基準を追加することについて、10 月 20 日の合同委員会でご審議いただく予定です。

3 国際協力の現状など

1) 国際協力の現状

		2007.7～9				～2007.9 末
海外ドナーから国内患者へ		新規登録患者数	全抗原適合*	コーディネイト数	移植数	累計移植数
日本	NMDP(米国)	7	6	5	0	110
	BTCSCC(台湾)	7	3	5	2	27
	KMDP(韓国)	7	2	1	0	13
計						150
国内ドナーから海外患者へ		新規登録患者数	全抗原適合*	コーディネイト数	提供数	累計提供数
日本	NMDP(米国)	22	16	22	0	10
	BTCSCC(台湾)	0	0	0	0	0
	KMDP(韓国)	72	47	52	1	128
	その他の国**	—	—	—	2	22
計						160

* 1 人でも適合したドナー候補者が見つかった患者の数。

** その他の国と地域は累計のみ掲載します。提供内訳は香港 7 件、英国 2 件、オランダ 1 件、オーストラリア 2 件、ブラジル 2 件、ドイツ 3 件、ベルギー 2 件、カナダ 1 件、シンガポール 1 件、フランス 1 件。

2) 骨髄バンクを介して 2 回提供された方（累計数） 382 人

3) DLI（ドナーリンパ球輸注）療法の実施件数（累計数） 225 件

4 中国骨髄バンク（CMDP）と提携、今月末より相互検索業務開始

9月24日、日本骨髄バンクは中国骨髄バンク(Chinese Marrow Donor Program：CMDP)と提携し、10月29日(月)より相互検索業務を開始します。CMDPのドナー登録者は8月末で約67万人(中国本土のみ)です。この提携により、両国の移植希望患者は各々のバンクに登録する合計約96万人のドナー登録者データへの検索が可能となり、HLA照合・適合の機会の増大が期待されます。

骨髄バンク間の国際協力は、移植希望患者に適合ドナーを見つけることにおいて重要な役割を担っています。日本骨髄バンクでは、国際間の提携を通じ、多様なドナー登録者の確保に努め、移植希望患者への骨髄提供の機会を増やすことを推進しています。すでにアメリカ、台湾、韓国の各骨髄バンクと提携し、各バンクのデータベースを通じて515万人を超えるドナー登録者との相互検索が可能です。

5 「骨髄バンク推進月間チャリティーイベント」を新宿で開催

骨髄バンク推進月間中の10月8日、新宿アルタ前で「骨髄バンク推進月間チャリティーイベント」(東京新都心ライオンズクラブ・東京21世紀ライオンズクラブとの共催)を開催しました。特設ステージではライオンズクラブの記念式典に続き、テレビ東京の大江麻理子アナウンサーと血液難病を克服した元患者駅伝チーム「ももの木」のメンバー、骨髄提供者他とのトークショー等、多彩なゲストによる骨髄バンクPRが行われました。またボーイスカウト(東京連盟新宿第4団)の皆さんやボランティアの方々による街頭募金活動や献血&ドナー登録会(新宿駅東口前)も行われ、26名の方にドナー登録をしていただきました。イベントの準備・運営にご尽力いただいたライオンズクラブの方々をはじめ、ボランティア、日本赤十字社、出演者の方々他、ご協力をいただいた皆様に感謝を申し上げます。10月は骨髄バンク推進月間であり、全国で多くのドナー登録会が予定されています。詳細は財団ホームページ(<http://www.jmdp.or.jp>)をご覧ください。

6 骨髄バンク推進全国大会に向けて「全国大会実行委員会」発足

平成20年2月9日に東京・御茶ノ水で開催予定の骨髄バンク推進全国大会に向けて「全国大会実行委員会」が発足します。支援団体等外部の方々には委員会メンバーになっていただき、10月25日(木)第1回目の委員会が開かれます。従来の財団主体の全国大会を見直し、企画から運営にいたるまで、様々な方々に参加いただき、また大会そのものも一般の方々が積極的に参加いただける内容として、新たな全国大会を目指します。今回の関東ブロックに続き、来年度以降は他ブロックでの開催も検討しています。

7 9月のドナー登録会、区分別登録者数

全国各地のボランティア団体等の協力のもとで行われているドナー登録会の9月の区分別登録者数は、献血併行型集団登録会/1204名、献血ルーム/1573名、集団登録会/110名、その他/168名でした。

8 財団の会議開催予定

傍聴をご希望の方は、事前に財団事務局総務部までお申し込みください。

	公開・非公開	開催予定
常任理事会	公開	11月9日(金)17:00~ 廣瀬第1ビル2階会議室
将来展望検討会議	公開	11月18日(日)13:00~ 廣瀬第1ビル2階会議室